



会長就任の挨拶

全日本学生バドミントン連盟
会長 北見 正伸

令和 5 年度から全日本学生バドミントン連盟（以下全日本学連）の会長に就任するにあたり、全日本学連副会長および運営本部代表競技部長の経験を踏まえ、「学生の目線」「競技力向上」「世代交代」の 3 点を全日本学連運営の根幹とします。

「学生の目線」：文字通り学生の考えを学連運営に反映させることです。同時に学生の皆さんには「権利（要望）と義務（責任）は表裏一体」であることを認識し、学生による主体的な学連運営を目標として先生方役員とともに協働していくことを望みます。現在、学生アンケート結果で要望が多かった（公財）日本バドミントン協会・全日本学連主催 1 種大会の試合形式に関して、その内容を抜本的に変更する計画を進めています。

「競技力向上」：学生の中から多くの日本代表選手を輩出することが目標です。しかし、勝利至上主義に偏ることは必ずしも是としません。全日本学連は勝者も敗者も等しく学生全員一人ひとりの登録費で運営されています。勝負の世界では勝利すること、そのために競技力の向上を継続して努力することが重要です。しかし、それ以上に重要なことは勝者が示す人格の向上への弛まぬ努力であることを強く認識してください。

選手強化への環境づくりとして、既に FISU ワールドユニバーシティゲームズや全日本総合バドミントン選手権大会に向けた強化合宿を数回実施していますが、新たに「全日本学連チーム（仮称）：地区学連推薦選手を含む」の結成とそのチームを対象とした海外遠征や強化合宿を企画する予定です。

「世代交代」：全日本学連は創設以来多くの方々がその運営を支えてこられました。今後全日本学連の運営が目まぐるしく変遷する社会状況の変化に即応するためには、先人達の知恵と経験に加えて 50 代以下の若い世代の方々の新しい知識と発想を活かし「温故知新」の精神をもって学連運営の世代交代を推進することが必要と思っております。

上記 3 点を全日本学連運営の根幹として、常に学生の皆さんの安全・安心に配慮しながら全日本学連および各種大会の運営にあたることをお約束して就任の挨拶といたします。

委員長就任の挨拶

全日本学生バドミントン連盟

委員長 福田 隆

令和 6 年度全日本学生バドミントン連盟委員長に就任しました関東学生バドミントン連盟の福田隆です。

今年度より、全日本学生バドミントン選手権大会の大会様式が変更となります。団体戦と個人戦に分かれ、チームや選手個人の力がいっそう発揮できる大会になると思います。

今年度は全日本学連の体制の転換期となると思います。大会様式、名称の変更や規約の整備など学生が主体となって学連運営に取り組んで、更に学生バドミントン界を盛り上げていきたいと思います。皆様のご協力も必要となりますので、よろしくお願いします。

令和 6 年度全日本学生バドミントン連盟役員名簿

顧問：関根義雄

名誉会長：宮崎重勝

会長：北見正伸

副会長：平野泰宏・宮崎克己

運営本部（PM）

総務部長（総務）：平野泰宏

競技部長（競技企画運営）：大束忠司

総務部広報委員：井上 翼

総務部渉外委員：平野泰宏・有吉晃平

競技部選手強化委員：大束忠司・古財和輝

競技部競技分析委員：渡辺英次

会計：林 忠男

監事：喜多 努・町並美保

学生役員

委員長：福田 隆（関東学連）

副委員長：臼井紫音（北海道学連）・大口尚真（中部学連）

会計：青木涼一郎（関東学連）

常任委員

北海道学連会長・中部学連会長・中四国学連会長・九州学連会長

7 地区学連委員長

代議員

7 地区学連選出の者

諮問委員会

会長・顧問・名誉会長・副会長・総務部長・競技部長・監事・全日委員長・全日副委員長